

夏期インターンシップ(短期)

in つくば

8/28(月)~8/30(水)

募集期間:6月7日~7月10日



土木研究所とは？

国立研究開発法人土木研究所は、土木技術に関する技術指導、成果の普及等を行うことにより、土木技術の向上、良質な社会資本の効率的な整備、北海道の開発の推進に資することを目的として設立された、土木に関する日本を代表する研究所です。我が国の土木技術に関する研究開発において、中心的な役割を果たしています。



お申し込み方法

マイナビ2025の下記ページの「申し込む」ボタンよりお申し込みください。

参加者募集は、6月7日より受付開始いたします。

体験できる分野の情報は、別紙(分野別の詳細情報)をご覧ください。

分野ごとに定員が異なります。応募者多数の場合は、抽選となりますのであらかじめご了承ください。

マイナビ2025

※夏期インターンシップ(短期)
in つくば のお申込みは
こちらから



夏期インターンシップ(長期)も募集しています(6月16(金)17時必着)

※詳細は、土木研究所HP(受入情報)をご確認ください。

問い合わせ先 企画部 研究企画課 インターンシップ担当Mail:kikaku2@pwri.go.jp

土木研究所HP
(受入情報)



別紙

—分野別の詳細情報—

- ①: 砂防分野
- ②: 地質・地盤、トンネル分野
- ③: 下水道分野
- ④: 道路舗装分野
- ⑤: 水質分野
- ⑥: 流域生態分野
- ⑦: 水工・水文分野
- ⑧: 建設材料分野
- ⑨: 橋梁・コンクリート分野

① 砂防分野

担当する
研究チーム等

火山・土石流チーム
地すべりチーム

定員

10名まで

タイトル

「土砂災害」を科学する

～土石流・地すべり災害対応の技術開発から現場まで～

概要

土石流と共に流下する流木が氾濫被害を助長する事例や地すべりによる災害が毎年発生しています。そこで、流木を捕捉する施設の効果評価のための実験や、地すべり災害対応のためのデジタル技術を活用した地すべり災害対応体験(DX体験)と意見交換を通じて、土木研究所での研究活動の一端に触れていただきます。

詳細なスケジュール(※現時点での予定のため変更する可能性があります)

1日目

8月28日(月)

研究所の概要説明
構内実験施設見学

研究体制、研究内容、研究成果の紹介

2日目

8月29日(火)

AM:現場見学
PM:実験見学

3日目

8月30日(水)

AM:災害対応体験
PM:全体意見交換会

- ・つくばエクスプレス「研究学園駅」～土木研究所 送迎バスがあります。
- ・学外活動をカバーする保険の加入が必要です。

② 地質・地盤、トンネル分野

担当する
研究チーム等

地質チーム
土質・振動チーム
施工技術チーム
トンネルチーム

定員

10名まで

タイトル

「大地のインフラ」を科学する

概要

インフラ施設整備の基本となる、地質・地盤分野(地質、土工、トンネル)に関して、横断的に活動を体験します。研究活動の概要と、土木研究所の特色である実験施設の見学、また土木研究所の重要な任務である技術指導等について、現場を視察し、関連活動に従事した職員の経験を聞く機会を設けて、国土交通行政、そのための研究活動に関心を持っていただく内容です。

詳細なスケジュール(※現時点での予定のため変更する可能性があります)

1日目

8月28日(月)

研究所の概要説明
構内実験施設見学

研究体制、研究内容、研究成果の紹介

2日目

8月29日(火)

AM:担当チームの実験施設紹介
PM:現地調査(つくば近郊)

3日目

8月30日(水)

AM:現地調査研究レポートまとめ、討論
PM:全体意見交換会

・つくばエクスプレス「研究学園駅」～土木研究所 送迎バスがあります。

・学外活動をカバーする保険の加入が必要です。

③ 下水道分野

担当する
研究チーム等

材料資源研究グループ
(資源循環担当)

定員

3名まで

タイトル

下水道施設を用いたエネルギー回収に関する研究の体験

概要

下水汚泥処理のうち、「消化」プロセスではメタンとしてエネルギーを取り出すことが可能です。本プログラムは、このプロセスを改善することにより多くのエネルギーを取り出すための研究の一部を体験していただく予定です。

詳細なスケジュール(※現時点での予定のため変更する可能性があります)

1日目

8月28日(月)

研究所の概要説明
構内実験施設見学

研究体制、研究内容、研究成果の紹介
2日目の実験準備

2日目

8月29日(火)

AM:現地見学(下水処理施設を予定)
PM:分析体験、実験結果の整理

3日目

8月30日(水)

AM:体験内容振り返り
PM:全体意見交換会

- ・つくばエクスプレス「研究学園駅」～土木研究所 送迎バスがあります。
- ・学外活動をカバーする保険の加入が必要です。

④ 道路舗装分野

担当する
研究チーム等

舗装チーム
材料資源研究グループ(先端
材料・高度化担当)

定員

2名まで

タイトル

「道路舗装」を科学する
～持続可能な舗装材料の開発から現場への実装まで～

概要

アスファルト舗装材は99.8%と高いリサイクル率を誇っています。アスファルトの化学構造や組成を考慮しながら行われているリサイクル技術について知っていただき、アスファルトの性状試験や混合物の力学試験を体験していただきます。また、実車両を用いた実験施設に構築している様々な舗装を見ながら、土木研究所で新しい舗装技術が生み出されるまでの過程を具体的な研究内容を交え紹介・意見交換を行います。これらを通して、土木研究所の研究活動を疑似体験できます。

詳細なスケジュール(※現時点での予定のため変更する可能性があります)

1日目

8月28日(月)

研究所の概要説明
構内実験施設見学

研究チームの紹介(研究体制、研究内容)

2日目

8月29日(火)

アスファルトの混合物試験体験など
研究チームの実験施設見学
意見交換

3日目

8月30日(水)

AM:意見交換会、レポート作成、フィード
バック
PM:全体意見交換会

- ・つくばエクスプレス「研究学園駅」～土木研究所 送迎バスがあります。
- ・学外活動をカバーする保険の加入が必要です。

⑤ 水質分野

担当する
研究チーム等

水質チーム

定員

3名まで

タイトル

「流域(下水道、河川・湖沼、ダム)の水質」を科学する

～流域の水質分野における技術開発から現場まで～

概要

本インターンシップでは、実際の現場が抱えている水環境の課題への理解を深めることを目的に、下水処理場や河川・湖沼等の「水質保全の現場」を実際に見学し、水質の調査や解析を体験していただきます。その上で、土研の特徴である現場の課題解決に向けた研究内容を紹介し、土木研究所の研究者との意見交換等を予定しています。

詳細なスケジュール(※現時点での予定のため変更する可能性があります)

1日目

8月28日(月)

研究所の概要説明
構内実験施設見学

研究チーム、研究内容の紹介
2日目の現場見学についての説明

2日目

8月29日(火)

現場見学、水質調査・解析の実習

3日目

8月30日(水)

AM:感想レポート作成、意見交換、フィードバック

PM:全体意見交換会

・つくばエクスプレス「研究学園駅」～土木研究所 送迎バスがあります。

・学外活動をカバーする保険の加入が必要です。

⑥ 流域生態分野

担当する
研究チーム等

流域生態チーム

定員

4名まで

タイトル

環境DNA調査技術について

概要

採水から分析・考察まで、環境DNAを使った環境調査の疑似体験をしていただきます。また、環境DNA調査技術の標準化に向けた土木研究所の取り組みや国の事業との関わりなどを知り、土木研究所の役割について理解を深めていただきます。

詳細なスケジュール(※現時点での予定のため変更する可能性があります)

1日目

8月28日(月)

研究所の概要説明
構内実験施設見学

研究チームの研究体制、内容の紹介
環境DNAについて説明

2日目

8月29日(火)

調査計画の立案体験
採水、ろ過、DNAの抽出・分析体験

3日目

8月30日(水)

AM:2日目の分析結果の確認、結果考察
環境DNAを取り巻く取り組み紹介
レポート作成
PM:全体意見交換会

・つくばエクスプレス「研究学園駅」～土木研究所 送迎バスがあります。

・学外活動をカバーする保険の加入が必要です。

⑦ 水工・水文分野

担当する
研究チーム等

水工チーム
河道監視・水文チーム

定員

3名まで

タイトル

流量観測に関する研究 ダムの水理模型実験

概要

近年多発している洪水氾濫等の水災害を軽減するために、国土交通省は河川堤防やダム等の河川構造物の設計・施工を実施しています。これらの実施業務の内、河川構造物を設計する上で最も基本的な河川水の流量の把握方法に関する研究の一部を体験していただきます。また、水理模型実験施設において、実物の1/60程度の縮尺模型を用いてダムの役割等を紹介するとともに、実際に水を流し、ダムの減勢工の機能について視覚的に体感していただきます。

詳細なスケジュール(※現時点での予定のため変更する可能性があります)

1日目

8月28日(月)

研究所の概要説明
構内実験施設見学

河道保全研究グループの研究概要の紹介

2日目

8月29日(火)

流量観測の重要性、計測手法の説明
現地観測体験
データ整理体験

3日目

8月30日(水)

AM:ダム推理設計の概要説明
ダムの推理実験施設の見学
PM:全体意見交換会

- ・つくばエクスプレス「研究学園駅」～土木研究所送迎バスがあります。
- ・学外活動をカバーする保険の加入が必要です。

⑧ 先端材料分野

担当する
研究チーム等

材料資源研究グループ(先端
材料・高度化担当)

定員

3名まで

タイトル

建設材料によるSDGsへの挑戦
～持続可能な社会の実現に向けた新たな防食・耐食材料の
実用化に関する取り組み～

概要

橋や水門などの社会インフラ構造物を長持ちさせるために、塗装、ライニング、めっき、金属溶射などの形態で各種の防食・耐食材料が使われています。材料メーカー各社では、持続可能な社会の実現に貢献するため、さまざまな新しい防食・耐食材料が開発されており、これらの社会実装に期待が高まっています。

土木研究所では、これまでに実績のない新しい材料の特性を正しく把握するための試験・評価方法の確立や、実用化にあたって障壁となる技術的課題の解決に資する研究に取り組んでいます。これらの研究内容について紹介し、関連する簡単な実験作業、実構造物を想定した材料試験施設の見学、意見交換などを通じて、土木研究所の研究活動を疑似体験していただきます。

詳細なスケジュール(※現時点での予定のため変更する可能性があります)

1日目

8月28日(月)

研究所の概要説明
構内実験施設見学
研究チームの研究体制、研究内容紹介

2日目

8月29日(火)

性能評価試験、分析体験
研究チームの実験施設見学

3日目

8月30日(水)

AM:課題解決に向けた研究活動の紹介
レポート作成
意見交換、フィードバック
PM:全体意見交換会

・つくばエクスプレス「研究学園駅」～土木研究所 送迎バスがあります。

・学外活動をカバーする保険の加入が必要です。

⑨ 橋梁・コンクリート分野

担当する
研究チーム等

橋梁構造研究グループ
材料資源研究グループ(汎用
材料担当)

定員

5名まで

タイトル

道路橋メンテナンスの技術開発に取り組む研究者のリアルを体験

概要

土木研究所が取り組む道路橋メンテナンスの最新の技術開発や研究課題を紹介するとともに、研究者としての働き方や研究に用いる実験施設など、土木研究所で働くことのリアルを体験していただきます。

詳細なスケジュール(※現時点での予定のため変更する可能性があります)

1日目

8月28日(月)

研究所の概要説明
構内実験施設見学

研究グループの研究体制、研究内容紹介

2日目

8月29日(火)

研究グループの実験施設、執務室見学
道路橋の専門家との意見交換
コンクリートの専門家との意見交換
若手研究者との座談会

3日目

8月30日(水)

AM:関連する基礎知識、劣化事例の紹介
PM:全体意見交換会

・つくばエクスプレス「研究学園駅」～土木研究所 送迎バスがあります。

・学外活動をカバーする保険の加入が必要です。